

魚津市人口ビジョン及び将来人口について

※平成27年(2015年)10月策定

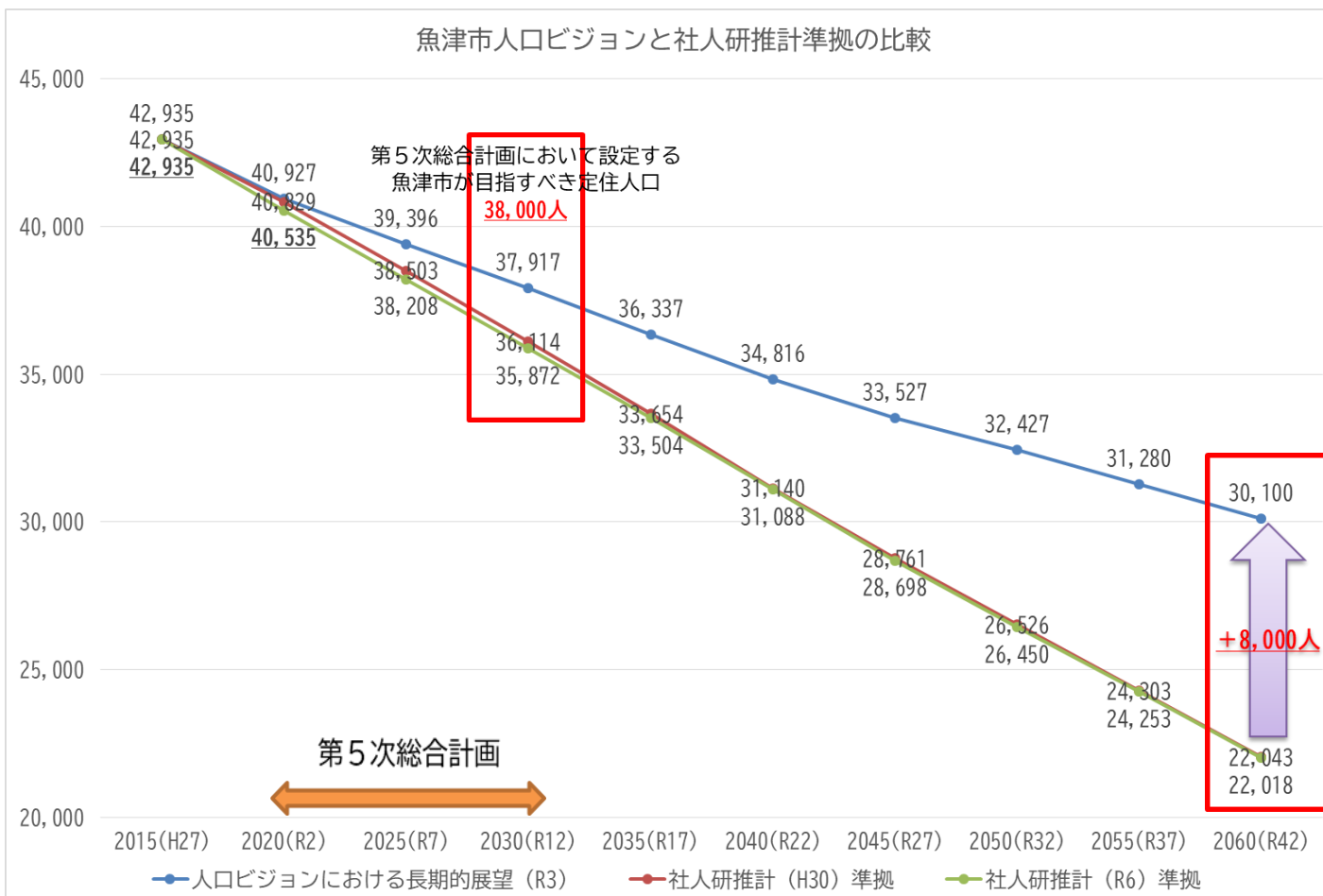
①魚津市人口ビジョンにおける長期的展望

- ◎令和42年(2060年)に人口規模3万人を維持します
- ◎人口構造の若返りを目指します

②長期的展望達成のための目標

- ・合計特殊出生率の段階的な上昇を目指します
 - ① 令和12年(2030年)に1.9程度を達成
 - ② 令和22年(2040年)に2.07程度を達成
 - ③ 令和22年(2040年)以降は2.07程度を維持
- ・若者の地元定着を図るとともに、U・Iターンを促進します
 - ① 令和2年~令和7年(2020年~2025年)の5年間の社会減0を達成
 - ② 令和7年(2025年)以降は毎年20人の社会増を達成

上記の目標を達成することにより、合計特殊出生率と若い世代の純移動率が改善され、2060(令和42)年の推計人口は、社人研推計準拠と比較して、約8,000人の増加が見込まれる。



◆魚津市の人口動態状況について

○人口動態における人口について

国勢調査の人口を基準として毎月の自然動態、社会動態の増減により算出している。

R2.10.1以降はR2国勢調査確報値を採用している。

これとは別に市の住民基本台帳登録者数を基に算出した住民基本台帳人口がある。

① 人口ビジョン目標人口と実績との比較

目標人口との差が大きくなってきている。

資料：とやま統計ワールド

(単位：人)

	令和2年 (10.1時点)	令和3年 (10.1時点)	令和4年 (10.1時点)	令和5年 (10.1時点)	令和6年 (10.1時点) (市民課速報値)
目標人口	40,927	40,621	40,315	40,009	39,703
実績	40,535	39,896	39,270	38,580	38,022
差	△392	△725	△1,045	△1,429	△1,681

② 合計特殊出生率(※)の推移

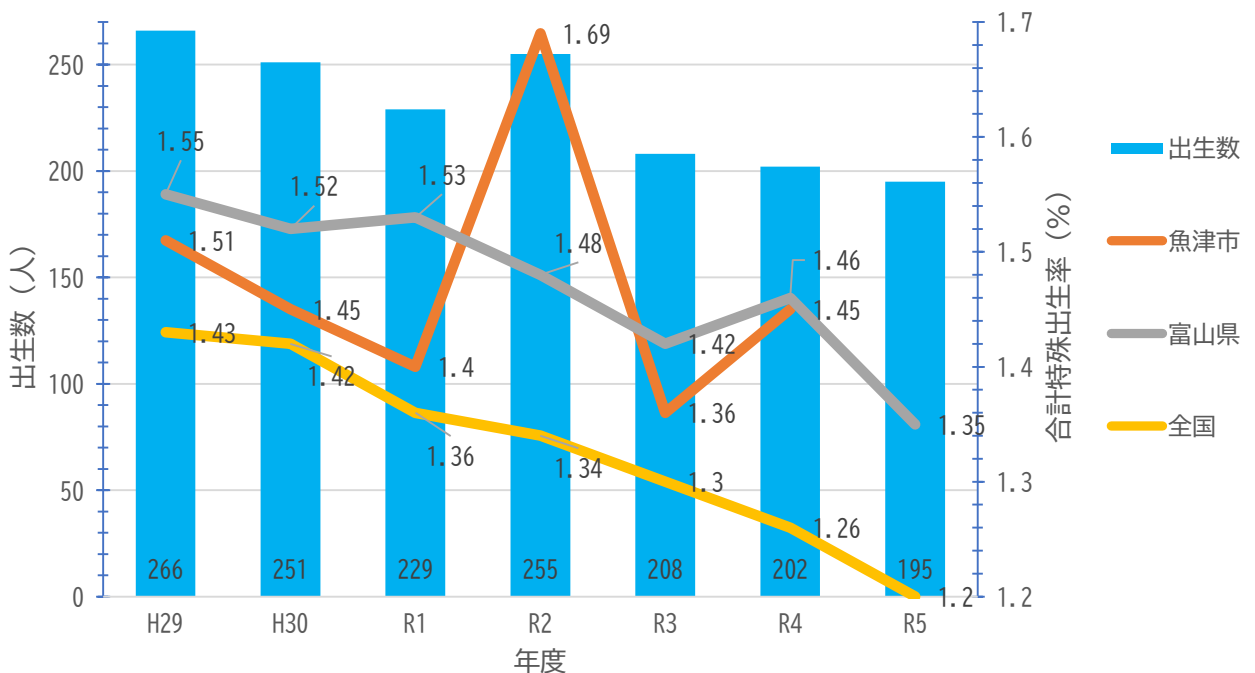
年度により増減があるものの、全体として年々減少している。

(※) {母の年齢別出生数÷年齢別女子人口}
(15歳～49歳までの合計)

資料：魚津市健康センター作成

出生数は年間数

※魚津市のR5合計特殊出生率は、R7.1月頃確定



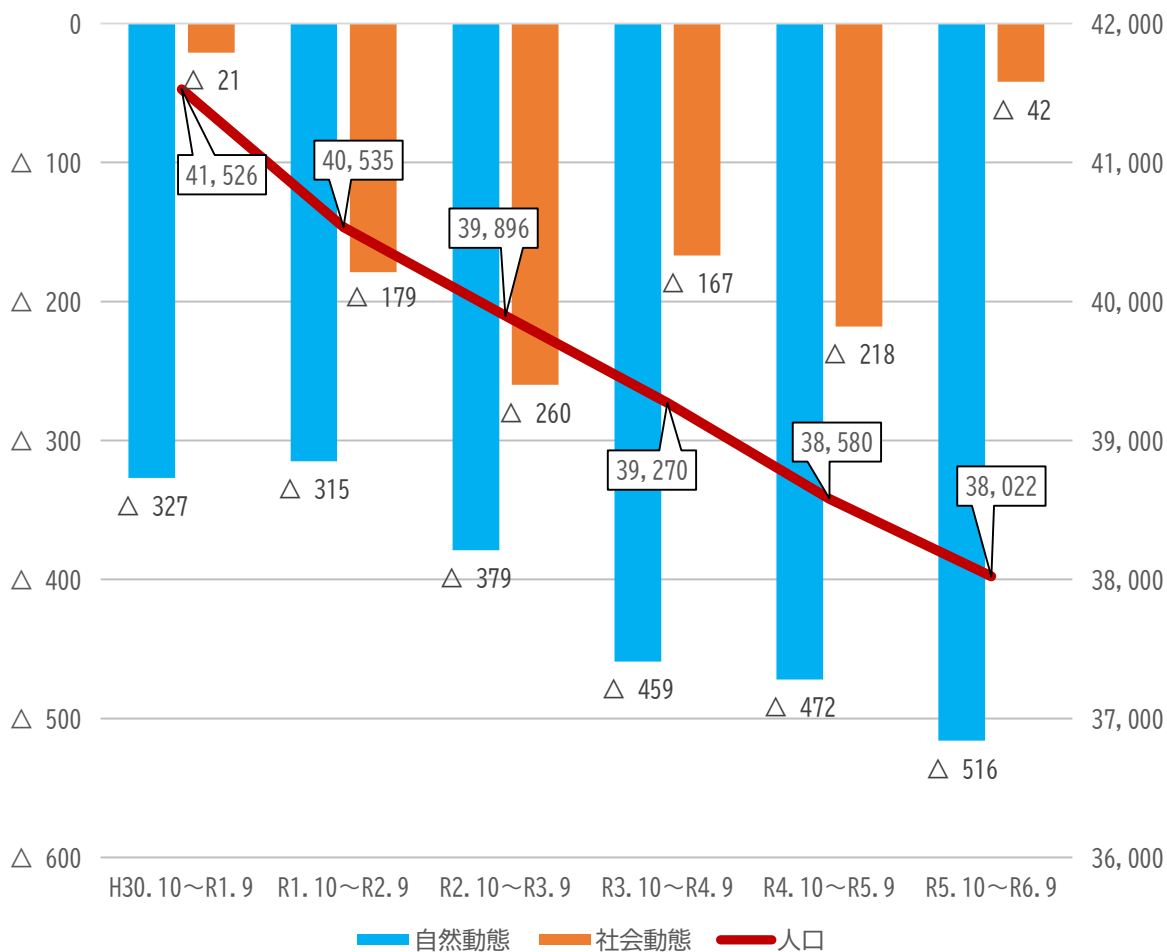
③ 近年の魚津市の人口動態

- ・自然動態は、減少傾向がより強まっている。
社会動態は、R5は転出超過が減少した。

資料：とやま統計ワールド

(単位：人)

期間	自然動態	社会動態	計	人口
H30.10～R1.9	△327 (出生227 死亡554)	△21 (転入1,257 転出1,278)	△348	41,526 R1.10.1現在
R1.10～R2.9	△315 (出生250 死亡565)	△179 (転入1,112 転出1,291)	△494	40,535 R2.10.1現在
R2.10～R3.9	△379 (出生226 死亡605)	△260 (転入1,008 転出1,268)	△639	39,896 R3.10.1現在
R3.10～R4.9	△459 (出生214 死亡673)	△167 (転入1,156 転出1,323)	△626	39,270 R4.10.1現在
R4.10～R5.9	△472 (出生192 死亡664)	△218 (転入1,136 転出1,354)	△690	38,580 R5.10.1現在
R5.10～R6.9 (市民課速報値)	△516 (出生180 死亡696)	△42 (転入1,170 転出1,212)	△558	38,022 R6.10.1現在



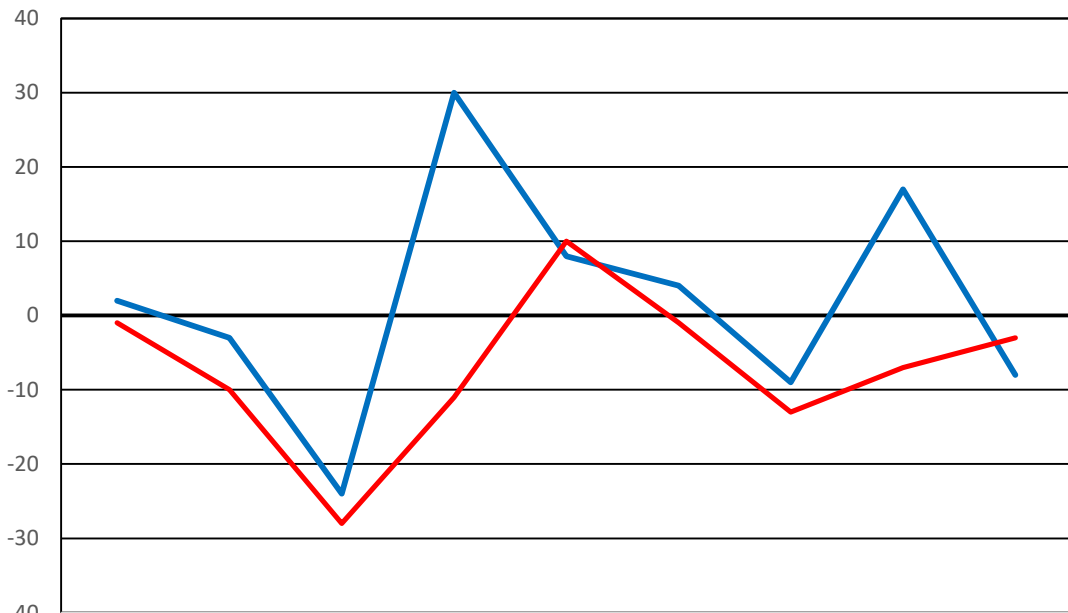
④ 最近の年齢・男女別社会動態の傾向について

年度ごとに増減があるものの、20代の女性の転出超過は継続している。
一方で、20～30代の男性の転出超過の傾向は減ってきている。

資料：住民基本台帳速報値（市民課）

R5. 10～R6. 9の年代・男女別社会動態（転入－転出）

（単位：人）



	～15歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳代	50歳代	60歳～
男	2	-3	-24	30	8	4	-9	17	-8
女	-1	-10	-28	-11	10	-1	-13	-7	-3

⑤ 最近の転出入の状況（令和5年10月～令和6年9月）

- ・県内では、富山市⇄魚津市、黒部市⇄魚津市間の移動が多い。
- ・10名以上の転出超過は滑川市、10名以上の転入超過は黒部市、入善町となっている。
- ・県外⇄魚津市の移動は転出超過となっており、関東（特に東京都）間の移動が多い。

【転出入者アンケートによる考察】

- ・転出の理由は「仕事関係（転勤等）」の割合が50%を超え最も大きい。
- ・滑川市への転出の主な理由は、住宅購入及び結婚によるもので、富山市との距離や地価が影響していると考えられる。
- ・黒部市からの転入者は、仕事や結婚を機に一時的に魚津市内で賃貸住宅に居住するものの、その後、仕事や住宅購入を理由に地元等に転出する傾向が見られる。

資料：住民基本台帳速報値（市民課）

1. 魚津市への転入状況

（単位：人）

月	転入計	前住所在地															
		県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	水見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
10月	102	50	52	21	0	7	16	1	0	0	0	0	1	1	1	3	1
11月	83	28	55	23	0	7	9	1	0	2	2	0	0	0	1	9	1
12月	83	28	55	30	2	4	10	1	0	2	0	0	0	1	1	2	2
1月	67	32	35	6	6	12	5	0	0	1	1	0	0	1	0	2	1
2月	75	34	41	12	5	8	6	0	0	1	0	2	0	0	2	1	4
3月	156	77	79	25	0	10	24	2	3	0	1	0	0	2	1	10	1
4月	175	103	72	22	5	8	24	2	0	0	2	2	0	0	4	1	2
5月	83	49	34	10	0	7	12	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0
6月	102	55	47	12	5	8	12	2	0	1	0	0	0	2	0	5	0
7月	83	47	36	10	3	4	12	0	0	1	0	0	0	2	0	3	1
8月	76	45	31	8	5	1	13	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0
9月	85	41	44	19	1	7	9	2	1	0	0	0	0	1	0	2	2
計	1,170	589	581	198	32	83	152	13	5	8	7	4	1	12	10	41	15

2. 魚津市からの転出状況

月	転出計	新住所在地															
		県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	水見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
10月	102	51	51	20	1	8	9	1	0	3	3	0	0	1	0	5	0
11月	76	41	35	11	3	7	10	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1
12月	86	46	40	16	1	7	8	0	0	1	0	0	0	1	4	2	2
1月	97	35	62	22	1	9	14	1	0	0	0	0	1	0	0	9	5
2月	88	41	47	10	3	13	18	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
3月	231	165	66	33	3	9	13	0	0	4	1	0	0	1	0	0	2
4月	143	86	57	23	6	9	9	2	0	1	1	1	0	1	0	3	1
5月	70	39	31	12	2	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
6月	89	51	38	15	4	12	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	71	40	31	13	2	5	9	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
8月	78	41	37	10	2	11	9	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0
9月	86	51	35	19	0	7	5	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
計	1,217	687	530	204	28	101	123	6	0	14	7	2	2	5	3	23	12

※注：転出計は、人口移動調査公表値ではなく、市民課報告数

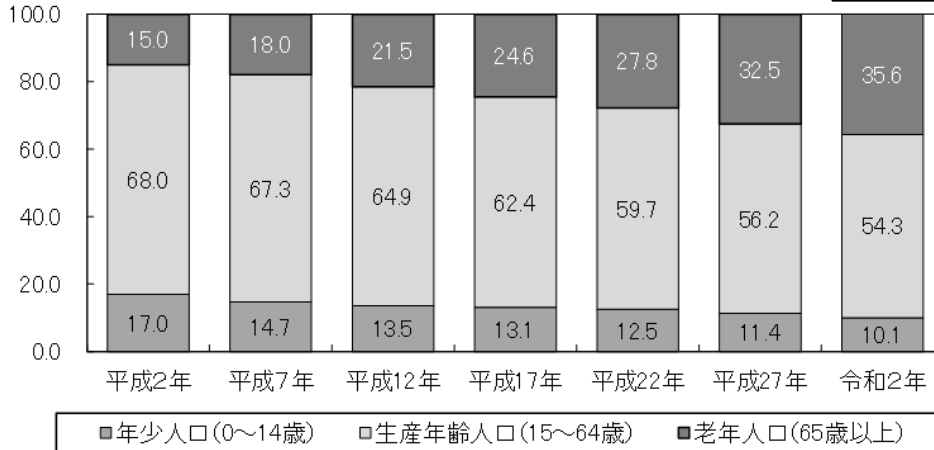
合計	県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	水見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
△ 47	△ 98	51	△ 6	4	△ 18	29	7	5	△ 6	0	2	△ 1	7	7	18	3

⑥ 年齢3区分別人口の推移

年少人口と生産年齢人口は継続して減少する一方、老年人口（高齢者人口）は継続して増加しており、令和2年の高齢化率は35.6%となっている。

(%)

資料：国勢調査（R2）



※割合は、年齢不詳分を除いて算出しています。

⑦ 高齢化率（県内市町村比較）

県内15市町村中7番目に高く、全国、富山県より高くなっている。

資料：国勢調査（R2）

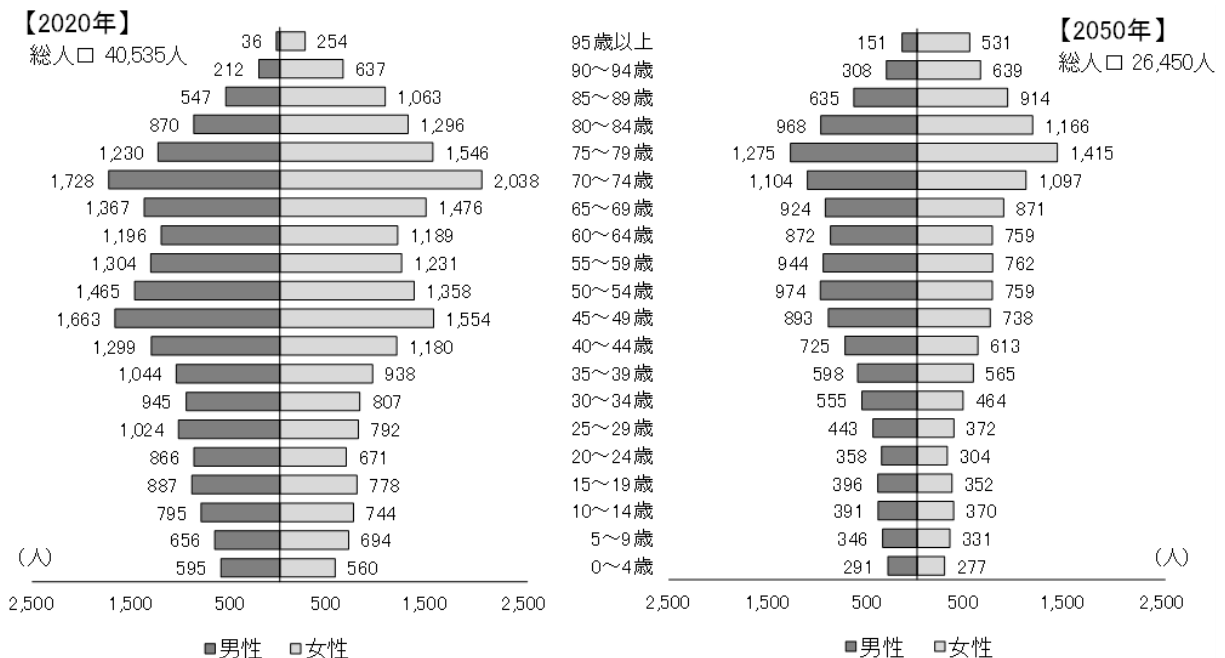
全国		28.6	富山県		32.6			(%)
1	朝日町	44.6	6	入善町	36.9	11	射水市	30.6
2	氷見市	39.6	7	魚津市	35.3	12	砺波市	30.5
3	南砺市	39.1	8	高岡市	34.1	13	滑川市	30.1
4	小矢部市	37.4	9	立山町	33.5	14	富山市	30.0
5	上市町	37.2	10	黒部市	32.0	15	舟橋村	20.2

※割合は、不詳補完結果（年齢不詳分を按分したもの）を用いています。

⑧ 人口ピラミッド

男女とも70~74歳の人口が最も多く、社人研推計では2050年には75~79歳が最も多くなる見通し。

資料：2020年は国勢調査、2050年はR5社人研推計



⑨ 地区別人口の推移

令和元年と令和5年で比較すると、減少率が最も大きいのは松倉地区のマイナス13.8%で、減少率が最も小さいのは道下地区のマイナス0.9%となっている。

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

	大町	村木	下中島	上中島	松倉	上野方	本江
令和元(2019)年	2,456	2,728	2,957	1,395	1,053	2,290	7,391
令和5(2023)年	2,160	2,444	2,861	1,286	908	2,133	6,930
増減	△ 296	△ 284	△ 96	△ 109	△ 145	△ 157	△ 461
増減率	-12.1%	-10.4%	-3.2%	-7.8%	-13.8%	-6.9%	-6.2%
	片貝	加積	道下	経田	天神	西布施	総数
令和元(2019)年	1,053	6,209	6,110	4,676	2,304	1,192	41,814
令和5(2023)年	936	6,043	6,055	4,374	2,187	1,063	39,380
増減	△ 117	△ 166	△ 55	△ 302	△ 117	△ 129	△ 2,434
増減率	-11.1%	-2.7%	-0.9%	-6.5%	-5.1%	-10.8%	-5.8%

⑩ 県内市町村別の15歳未満の人口割合（令和5年10月1日現在）

市全体の人口の15歳未満が占める割合は9.1%となっており、県内15市町村のうち、5番目に低い割合となっている。

資料：とやま統計ワールド

	舟橋村	滑川市	射水市	砺波市	黒部市	富山市	立山町	高岡市	小矢部市	南砺市	魚津市	上市町	入善町	氷見市	朝日町
15歳未満人口	538	3,911	10,694	5,415	4,312	45,242	2,574	16,152	2,760	4,460	3,492	1,647	1,993	3,573	783
全人口	3,197	31,953	89,319	47,122	38,585	406,547	23,886	161,637	27,851	45,360	38,580	18,382	22,401	41,282	10,265
割合	16.8%	12.2%	12.0%	11.5%	11.2%	11.1%	10.8%	10.0%	9.9%	9.8%	9.1%	9.0%	8.9%	8.7%	7.6%

